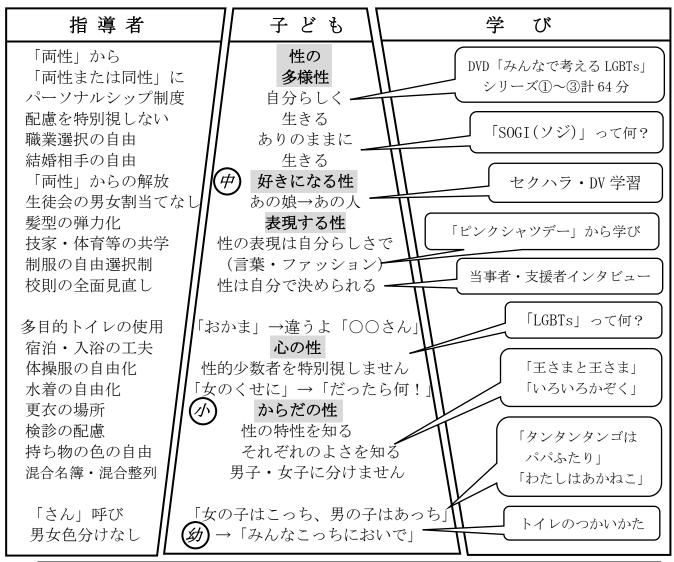
## 23. 自分らしく生きるために〔性の多様性〕

子どもたちはどの子もみんなと一緒に楽しく勉強や学校園生活を送りたいのです。勉強や友だち関係で悩んでいる子も、性のことで悩んでいる子も同じことです。特に、性の悩みは見えにくいことを認識しておきましょう。

「13人に1人」が「さまざまな性」について悩んでいる子がいると言われています。そんな子どもたちの中には誰にも打ち明けられず、相談もできずに日々暗く沈んでいる子も多いでしょう。気持ち悪がられたらどうしょうと怖いのです。そんな子どもたちに寄り添えるのはあなたです。早く性の悩みから解放してあげましょう。もちろん、最近はさまざまな性への配慮がなされていますが、さらに学校園全体で発達段階に配慮して性の多様性についてのカリキュラムを作成して実践しましょう。と、同時に保健の先生やカウンセラーの方と共に個別支援が欠かせません。どうか、あなたがよき理解者であってください。



## 「LGBTQ+」<u>性は人によって</u> いろんなかたちがあっていい

- L レスビアン(女性同性愛者)
- G ゲイ (男性同性愛者)
- B バイセクシャル(両性愛者)
- T トランスジェンダー(身体の性に違和感)
- **Q** クエスチョニング(性を決定できにくい人)

## 「SOGI(ソジ)」すべての人が

## 性のあり方を自分で決められる

<u>Sexual Orientation</u>(性的指向) Gender Identity(性自認)

SOGI はすべての人にかかわっていて 誰もが大切にされる人権です

性への配慮は特別ではなく当たり前に!

虹は7色だけではありません。たくさんの色(個性)が認め合い共生していますマイノリティーの子どもたちが元気で明るいことは、すべての友だちが元気で明るい集団です

教職員のための参考資料『ありのままに自分らしく』互いに認め合える学校園所をめざして ~性の多様性について考える~(授業書) 宝塚市教育委員会発行 〈令和6年(2024年)4月発行〉